

—歴史に学ぶ・ひろしまの過去から未来へ—

甲立古墳から考える古墳時代の広島

安芸高田市教育委員会 川尻 真

1. 安芸高田市の宝？
2. 広島県内の古墳と甲立古墳
3. 安芸高田市の古墳文化

4. 甲立古墳の調査と概要



円筒埴輪



家形埴輪



楕円筒埴輪

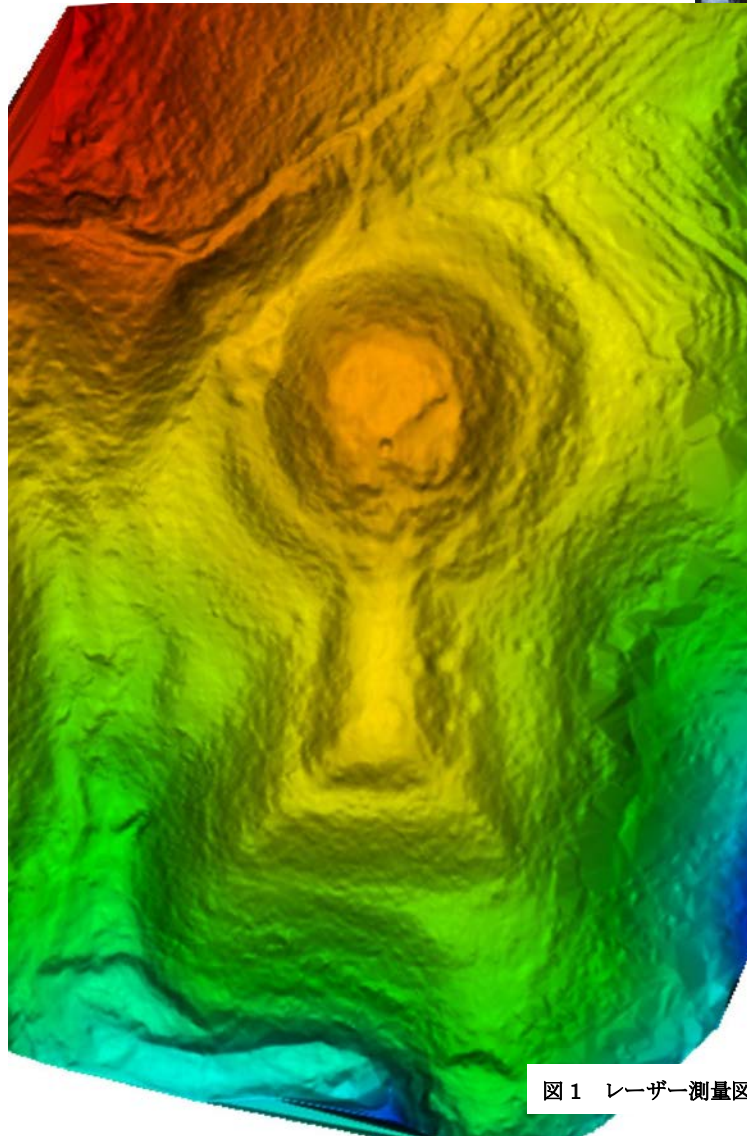


図1 レーザー測量図



前方部葺石



長方形区画の石敷遺構



調査風景：前方部葺石



調査風景：埴輪検出

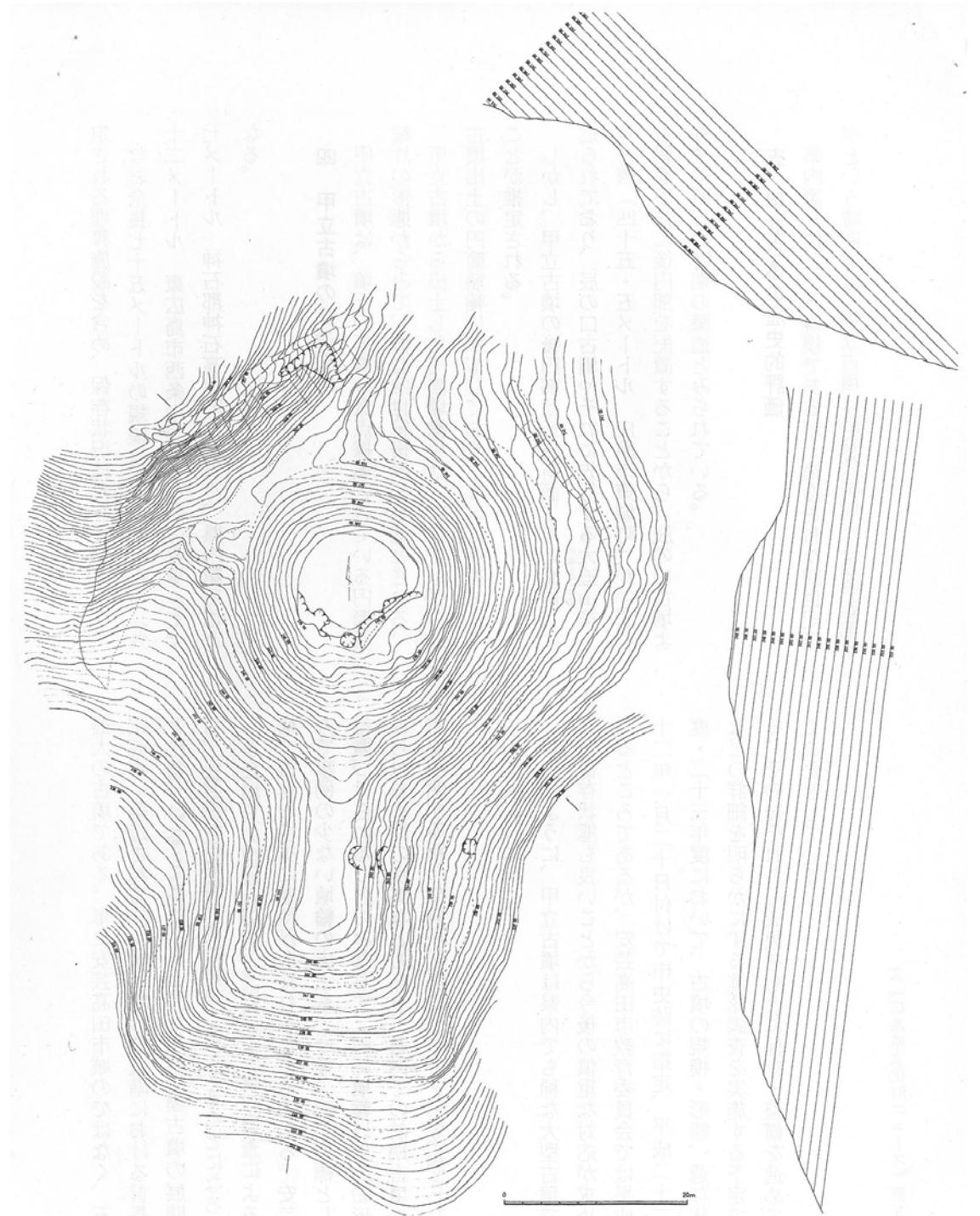


図2 甲立古墳墳丘測量図 (1:500)

甲立古墳墳丘測量図(平成21年広島大学作成)

調査目的

この調査は、市史跡・甲立古墳の今後の保存・整備を進めるための内容(概要)確認調査を目的に、部分的な発掘調査を22年度から今年度までの3ヵ年計画で行うもの。昨年、文化庁調査官の現地指導を受け、今年度は補足調査を行い、次年度に報告書作成を行う予定。

調査主体 安芸高田市教育委員会
(発掘調査作業を(財)安芸高田市地域振興事業団に委託)

22年度調査でわかったこと

- ・推定全長約75mの前方後円墳。(墳丘長は県内第3位。)
- ・墳丘は2段築成、墳丘斜面のほぼ全体に葺石(円礫使用)。
- ・一部削平を受けるが顕著な墳丘崩壊等は認められない。
- ・前方部・後円部墳丘上で円筒埴輪が出土(樹立痕も確認、4世紀後半のものと同推定)したほか、後円部墳頂で家形埴輪がまとまって出土。
安芸国(広島県西部)で古墳時代前期・最大級の前方後円墳。
保存状態は極めて良好。
- ・後円部中央付近で概ね7m×4mの範囲に角礫が出土し、この範囲が中央埋葬施設(主体部)の墓壇範囲と推定する。



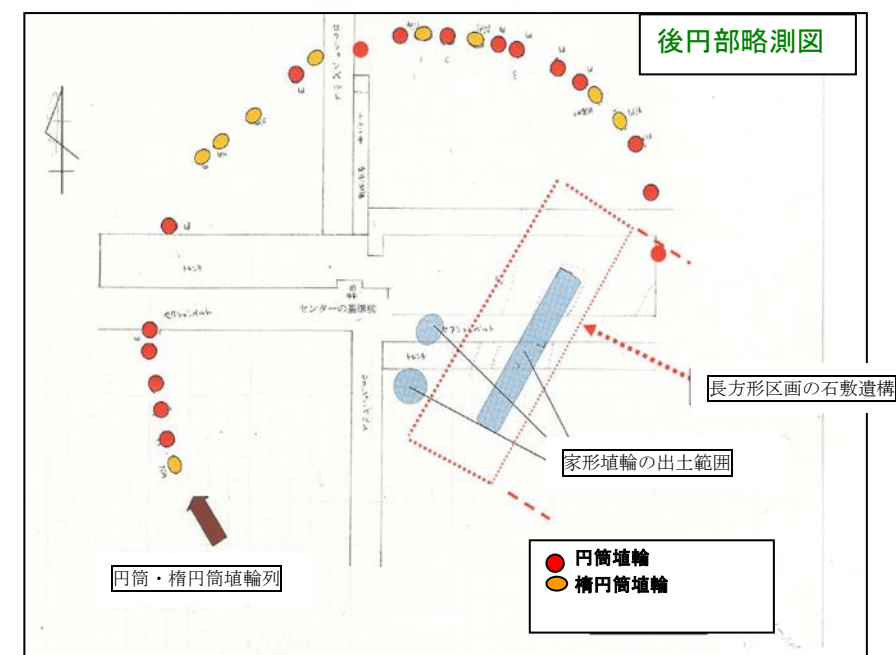
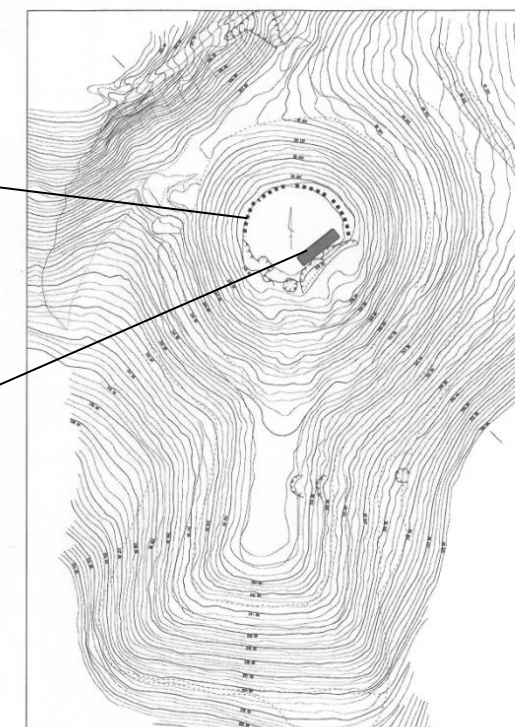
23年度調査でわかったこと

円筒・楕円筒埴輪列

後円部の外周・縁辺部分に円筒埴輪・楕円筒埴輪計26基(円筒17・楕円筒9)が立ち並ぶ、埴輪列を検出した。

長方形区画の石敷遺構・家形埴輪

埴輪列の内側、後円部南東部分に、長さ約6.3m、幅約2.0m(現状)の長方形範囲に円礫(河原石)を集めた石敷遺構を検出、この石敷内及び東側で家形埴輪数基が出土した。



円筒・楕円筒埴輪列

長方形区画の石敷遺構